

1. レジ袋削減への取組の概要

- ・ 千葉市の地域性を踏まえた「ちば型」の循環型社会を実現するために、平成 15 年 8 月にごみ減量のための「ちばルール」を策定し、市民、事業者及び行政の三者がそれぞれの役割のもと、「レジ袋削減・簡易包装の推進」を展開しているが、特に事業者と市が協定を締結し、レジ袋の無料配布廃止、レジ袋辞退者への値引き制・ポイント制等を導入、声掛けなどの事業者の取組を広く市民に周知していくことでレジ袋の削減を図る。
- ・ レジ袋有料化の取組状況について事業者の参加状況は、スーパーマーケットが 3 店舗である。また、特典提供方式については、スーパーマーケットが 33 店舗、ドラッグストア 4 店舗である。
- ・ レジ袋有料化後のレジ袋辞退率は 41%である。

2. レジ袋有料化による削減の効果の要因について

- ・ 消費者のリデュースの意識の高まりと及び有料化に伴う負担増を避ける心理が奏功したためと考える。
- ・ 業種・店舗規模等における取組の傾向や削減効果などに特段の違いは見られない。